

第89回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和2年1月27日(月) 13:30~15:21

場 所 神戸大学本部 大会議室

出席者 武田議長(学長)、
小林委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、藤井委員、森口委員、
水谷委員、小川委員、岡田委員、杉村委員、吉井委員、小田委員、
品田委員、加藤委員

(オブザーバー) 外村監事、林監事、坂本副学長、齋藤副学長、増本副学長、
國部副学長、中村副学長

欠席者 天野委員、井戸委員、佐藤委員、久元委員

議事要録について

第88回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

- 1 中期目標・中期計画の変更について
入学定員の変更に伴い中期目標・中期計画を変更する旨説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 医学部は24名定員増となっているが、一学年あたりでは何名の定員増となるのか?
 - 定員増となるのは、令和2年度及び3年度の2年間となり、単年度あたりでは12名の定員増となる。合計して24名の定員増となる。
- 2 新・国際交流施設整備計画について
新たに整備する学生宿舎等に係る新・国際交流施設整備計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 施設整備にあたっての財源はどうするのか?
 - 金融機関から資金を借り入れて整備を進めるが、返済にあたっては、明石市にある大学所有地の売却益や、神戸大学基金及び宿舎から得る家賃収入を財源に充てることを予定している。
- 3 同一労働同一賃金等への対応について
短時間労働者及び有期雇用労働の雇用管理者の改善等に関する法律が令和2年4月1日付けにて施行されることに伴い、同法に対する本学の対応方針について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 職員への不利益としては、どのようなものがあるのか?
 - 基本的に不利益となることはない。非常勤職員は時給単価が上がり(1,300円)、休暇制度も拡充される。フルタイム職員への賞与及び住居手当は廃止されるが、現在雇用中の者は、その雇用期間が終了するまで経過措置として支給が継続される。

また、新規に雇用するフルタイム職員については、賞与及び住居手当の支給がないことを承知された上で契約を結ぶため、不利益には当たらない。

なお、準正規職員には退職一時金を新設する。

4 新法人（承認TLO）の設立について

神戸大学の知的財産の活用及び産官学連携を強化することを目的として、学術・産業イノベーション創造本部機能の一部を外部化し、新法人（承認TLO）を設立の上、当該法人に対して神戸大学が1,000万円出資（100%出資の子会社）することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 他大学の状況はどうか？

→ 承認TLO設立の動きはほとんどなく、直近では2年前に京都大学が設置した「IPSアカデミアジャパン」だけである。

○ 今のタイミングで設立する理由は何か？

→ この分野に詳しい専門家を得たことと、文部科学省のオープンイノベーション事業へ採択されたことを契機に、一層の産学連携を図るため設立するものである。

○ 成果予測としてはどのように考えているのか。目標の金額設定はあるのか？

→ 本学では、毎年約100件の発明届があることを踏まえ、シーズ発掘と企業ニーズ調査を進めれば、相当のマッチング件数が見込まれる。金額の予想値としては、現在のライセンス収入3,000万円から、6年後にはその5倍程度を目標としている。

○ 以前のTLOと、今回のTLOの違いは何か？

→ 以前のTLOは大学のシーズを紹介して締結するところまでが大半であったが、今回設立するTLOは独自に事業化することまで視野に入れている。

○ これまでにTLO組織を持っていなかったのか？

→ 過去にもあったが、この分野に精通した専門家がいなかったことと、会社に繋げる能力を持っていなかったため、うまく機能しなかった。

○ 神戸大学以外の取締役は決まっているのか？また、取締役やスタッフの人件費はどうなるのか？

→ 実務経験豊富な専門家2名が取締役に就任する予定である。経費に関しては、現在の学術産業イノベーション創造本部の一部の機能を委託することから、同本部の運営経費の一部をもって新会社の固定経費を担う。具体的には、業務委託契約を行い経費を負担する。

報告事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について
平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。
 - 2 平成30事業年度 重点支援枠③16大学財務データ分析資料について
重点支援枠の1つである重点支援③の対象16大学の財務諸表について報告があった。
 - 3 病院セグメント2019年度着地予想について
2019年度の医学部附属病院損益着地予想について報告があった。
 - 4 令和2年度予算（案）等の概要について
国立大学法人等における令和2年度の予算（案）概要及び施設整備実施予定事業について報告があった。
 - 運営費交付金について、令和2年度予算と令和元年度予算を比較した場合、実質減額となるのか？
 - 23億円程度の減額となる。
 - 成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）と、各大学の評価指標に基づく再配分（KPI）は、金額等に変更はあるのか？
 - 共通指標の配分額は700億円から850億円に増額、KPIの配分額は300億円から250億円に減額される。とくに共通指標については、令和元年度に活用した人事給与マネジメント等に関する指標に加え、教育研究等に関する指標が複数追加されている。
 - 5 病院セグメント令和元（2019）年度上半期決算について
病院セグメントの令和元（2019）年度上半期決算について報告があった。
 - 6 令和2年度経営協議会開催予定について
令和2年度の経営協議会開催予定について報告があった。
- ◎ 次回は、令和2年3月23日に開催予定。